

# 備中地域 まちづくり通信

まちの出来事・情報などお届けします

第5号

2020(R2)4月発行



▲備中の春 布瀬川沿いの菜の花と例年より少し開花が早かった桜。山の木々も芽吹きはじめ春本番を迎えた（4月3日）



▲「布瀬川を守る会」が行った「布瀬川下流域の自然保護と体験事業」のひとつホテル祭。夏には魚のつかみ取りも行われ、多くの家族連れが布瀬川の自然を楽しんだ



▲布賀地区コミュニティ協会が行った「布賀ぼっけえ祭」。新鮮野菜を求めて市内外から500人の来場者で賑わった



▲すべてのコミュニティ地域で取り組まれている「福祉の村づくり事業」。長谷地区協議会では、毎年2月に地域住民が集う「ふれあい大会」が開催されている



▲NPO団体(写真右端)の説明を受ける参加者

視察は、広島県三次市作木町のNPO団体を視察しました。この団体ではグループホーム、川の駅、農産加工施設など公共施設の管理運営と農業支援、移送サービス事業など13事業を手がけており、昨年度の売り上げは約1億6千万円。また、雇用もほとんどが地元の方で、臨時、パートも含め約160人のとのことでした。説明をしていただいた理事さんの地域を愛する熱い思いを感じる事ができました。



▲備中地域まちづくり協議会の様子(備中地域局)

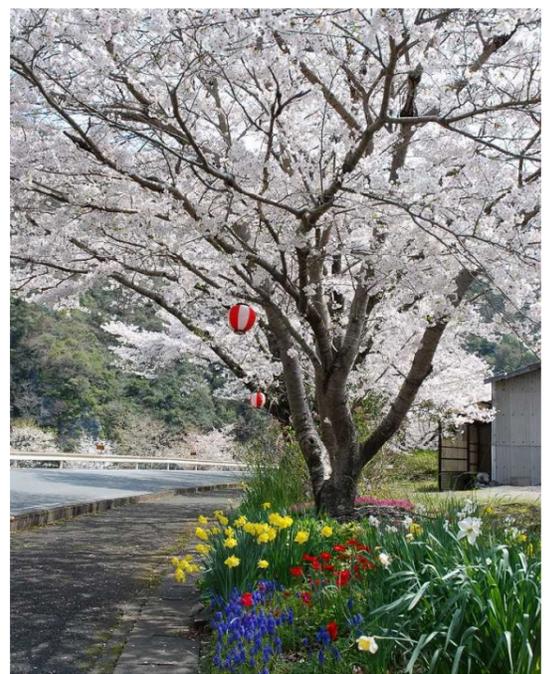
事業(20事業)に750万円を支援しています。また、新たに取組んだ事業として、大学生を受け入れ、地域の魅力や課題を掘り起こす地域づくり・人づくり応援隊事業の報告もありました。また、令和2年度の地域振興交付金の運用及び各地域まちづくり協議会の共通経費の取り扱いについては、高梁市まちづくり協議会連絡会において、昨年と同様の方針が示されていること、報告があり、備中地域まちづくり協議会としても基本的にこれまでどおりの取り扱いとすることを確認しました。詳しい事業報告及び決算、2年度の事業方針は、来月開催予定の総会で承認・決定されることとなります。

3月27日、備中地域まちづくり協議会を開催し、今年度の事業報告や決算見込み、また、来年度の事業方針など話し合いました。地域振興基金を財源とする交付金は、800万円の活動事業に400万円、ふるさと祭などの地域イベント、福祉のむらづくり事業、環境整備など地域活力創造

コミュニティ活動、地域活性化事業など21事業に1千2百22万円を支援



▲備中の魅力など見つける「人づくり・地域づくり応援隊事業」。県内4大学から12名の学生が参加した。紅葉の中、フリークライミングを体験した学生たち



▲数之瀬町内会では、景観・保全事業として県道沿いの桜の管理、季節ごとの花の植え付け、歩道の清掃活動など年間を通じて環境美化活動に取り組まれている。←「平川ど拍子運動会」。地区外に転出している家族も帰省して、小学校現役を思わせるくらい歓声が校庭に響いている



→西山コミュニティ協議会が(西山観光振興組合協賛)行う「夏祭りー西山高原」。花火、レーザーショーなどキャンパーをはじめお盆の帰省客も楽しんでいる

NPO法人「元気むらさきぎ」を視察  
まち協視察研修